

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・業界別セミナー(1回、23名)や人材育成支援セミナー(リーダー養成20人、部下育成26人)を実施するとともに、企業7社へコンサルタントを派遣し、企業における女性活躍推進を支援した。 ・自営型テレワーカー養成講座(初心者向け65人受講、経験者向け59人修了)や、ワーカーと企業との商談会(ワーカー77人、企業25社参加)を開催し、育児等で外で働くことが困難な女性に対する就業支援を行った。 ・女性が働きやすい環境を整える企業と働きたい女性を対象に合同企業説明会を4回実施し、女性38人、企業のべ58社が参加した。 ・建設産業における女性の活躍を推進するため、経営者向けのトップセミナーをオンライン配信した。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革アドバイザーを養成し、セミナー・個別相談会を実施したほか、アドバイザーをモデル企業に派遣、取組事例集を作成するなど県内企業の働き方改革の取り組みの推進を支援した。また、優れた成果が認められる企業の表彰等を実施した。 ・放課後児童クラブ支援員の処遇改善や研修により質の向上を図るとともに、クラブの整備により、利用児童が増加した。(R3公表値(R3.5.1現在): 14,782人 前年比329人)
③	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の推進や様々な分野に挑戦している女性の団体・個人を表彰し、女性の活躍推進を図った。 ・自信回復、モチベーションアップのためエンパワメントセミナーを開催し、家庭や地域、働く場等での社会参画の促進を図った。 ・地域婦人会において、女性ならではの視点を生かした家庭のゴミ問題改善に向けた検討会や特産品を活用した新メニュー開発など地域課題解決に向けた活動を展開した。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画週間行事としてアイネスフェスタ(講演会、ワークショップ、パネル展示等:144人)や啓発講座(230人)を開催し、男女共同参画に関する認識を深めた。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の父親や企業経営者を対象としたセミナー等による男性の子育て参画を通じ、社会全体で子育てを応援する機運の醸成を図った。(男性の子育て参画推進講座2地域、イクボスセミナー2回)

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(3年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①③④	女性が輝くおおいたづくり推進事業	129.9	268
①	女性のスキルアップ総合支援事業	46.1	261
	建設産業女性活躍推進事業	122.0	268
②	放課後児童対策充実事業	92.3	11
	保育環境向上支援事業	102.8	12
	働き方改革推進事業	100.0	258
③	女性の地域活動活性化支援事業	100.0	330
⑤	おおいた子育て応援スクラム事業	90.9	11

【VI. 施策に対する意見・提言】

<ul style="list-style-type: none"> ○男女共同参画審議会(R3.8) ・アンコンシャス・バイアスの解消は今のキーワード。解消できる意識改革として認識している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○女性活躍推進のための企業等訪問 ・男性に対する会社の理解が家庭にも影響を与える。
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・経済団体と連携した「女性が輝くおおいた推進会議」の取り組みとして、「女性が輝くおおいたアクションプラン」を実行し、PDCAサイクルによる効果検証を行う。 ・「女性活躍推進宣言」企業の募集やフォローアップを兼ねた優良取組企業の表彰を行うとともに、多様な分野で活躍し輝いているロールモデルを発信する。 ・企業における女性の視点を活かした商品開発などの社内プロジェクトへの支援やコンサルタント派遣による働く女性の継続就業、育成、登用支援、エンパワメントセミナーによる就労等により男女共同社会参画の形成を推進する。 ・アンコンシャス・バイアスについて気付き、対処・行動するため、企業と一緒に事例を深掘りし、その結果を広く県民に対して啓発する。 ・男性の家事力UP推進セミナー等を通して男性の子育て、家事等の参画を促進する。 ・自営型テレワーカーの養成、商談会・交流会を引き続き開催するとともに、就労希望女性対象の伴走型支援やインターンシップなどを実施することで、女性の就業機会の拡大を図る。